

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	24-314	慶應義塾大学名誉教授 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Long-term albumin improves the outcomes of patients with decompensated cirrhosis and diabetes mellitus: Post hoc analysis of the ANSWER trial 長期アルブミン投与は非代償性肝硬変と糖尿病を合併する患者の転帰を改善する : ANSWER 試験の事後解析		
執筆者		
Enrico Pompili ¹ , Maurizio Baldassarre ² , Giulia Iannone ¹ , Greta Tedesco ¹ , Silvia Nardelli ³ , Salvatore Piano ⁴ , Carlo Alessandria ⁵ , Sergio Neri ⁶ , Francesco G Foschi ⁷ , Fabio Levantesi ⁸ , Paolo Caraceni ^{1,2} , Mauro Bernardi ¹ , Giacomo Zaccherini ^{1,2} ; ANSWER Study Investigators		
掲載誌		
Liver Int 2024 Sep;44(9):2108-2113. doi: 10.1111		
キーワード	PMID	
腹水、細菌感染症、糖尿病、肝性脳症、長期アルブミン療法、腎機能障害、生存率	38934515	
要 旨		
<p>2 型糖尿病は、肝硬変の頻度の高い併存疾患であり、肝硬変関連の合併症や死亡率と独立して関連している。 ANSWER 試験データベースのこの事後分析では、標準治療 (SMT) に加えて長期ヒトアルブミン (HA) 投与が、肝硬変、合併症のない腹水、インスリン治療を必要とする 2 型糖尿病 (ITDM) を有する外来患者 85 名のサブグループにおける臨床転帰に及ぼす影響を評価した。 SMT 群と比較して、SMT + HA 群は全生存率が良好 (86% 対 57%、$p = 0.016$) であり、腹水穿刺、顕性肝性脳症、細菌感染症、腎機能障害、電解質異常の発生率が低かった。入院回数は両群で差がなかったが、SMT + HA 群では入院日数が短かった。結論として、代償不全性肝硬変と腹水を伴う ITDM 外来患者サブグループにおいて、長期 HA 投与は生存率の向上と肝硬変関連合併症の発生率低下と関連していた。</p>		